



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
 コード番号 6199 URL http://www.seraku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)宮崎 龍己
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)小関 智春 (TEL) 03 (3227) 2321
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	3,161	22.5	210	513.8	211	453.8	120	—
2019年8月期第1四半期	2,581	—	34	—	38	—	7	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 121百万円 (—%) 2019年8月期第1四半期 7百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	8.77	8.76
2019年8月期第1四半期	0.53	0.53

(注) 当社は、2018年8月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第1四半期連結会計期間の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	5,704	2,888	50.6
2019年8月期	5,370	2,811	52.3

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 2,886百万円 2019年8月期 2,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	3.20	3.20
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	3.40	3.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	21.2	210	8.9	210	5.9	110	1.2	8.00
通期	14,000	22.7	770	5.8	780	5.8	470	6.6	34.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期1Q	13,767,200株	2019年8月期	13,767,200株
2020年8月期1Q	39株	2019年8月期	39株
2020年8月期1Q	13,767,161株	2019年8月期1Q	13,759,161株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向に起因する海外経済に不確実性があるものの、政府の経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境に引き続き改善傾向が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、投資拡大が期待されるIoTサービス、ビッグデータやAIなど新たな技術の活用への投資が拡大し、またそれに伴い巧妙化するサイバー攻撃に対応するセキュリティサービスなど、活発に広がりを見せており、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の重要性が増しております。

このような環境の下、当社グループは積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成によるサービスの価値向上に取り組むとともに、「みどりクラウド」による農業IT分野でのシェア拡大に注力してまいりました。

また、ITエンジニアの人材流動化が加速している市況を踏まえ、新たに人材紹介事業を開始しております。

これらの結果、当社グループの売上高は3,161,151千円（前年同期比22.5%増）、営業利益は210,194千円（前年同期比513.8%増）、経常利益は211,273千円（前年同期比453.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120,758千円（前年同期比1,565.3%増）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下の通りであります。

① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービスを提供しております。

大手企業を中心に慢性的なIT人材不足を背景に「クラウド運用」「プロジェクトマネジメント」「CRMマーケティング運用」等の領域において、順調に案件獲得が見込めることから、人材の積極採用及び育成に注力するとともに、各社ビジネスパートナーとの連携強化によって、新規案件の拡充に努めてまいりました。

また、「ソフトウェアテスト・第三者検証」におけるテスト設計者の育成や業務品質向上を目的としたナレッジベースの整備に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,648,084千円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は232,807千円（前年同期比142.2%増）となりました。

② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、新規性の高い先端技術領域でのデジタル化を推進し、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ、IoTやAIを用いて課題解決を図るデータサイエンス、データを可視化しRPAによる業務の効率化を実現するビジネスインテリジェンス、圃場環境モニタリングによるデータの可視化とその分析・活用により儲かる農業を実現する「みどりクラウド」などのサービスを提供しております。需要の高まる先端技術を要する案件に応える人材の採用・育成に重点的に取り組んでまいりました。

また、「みどりクラウド」においては、流通・生産向けソリューションの提案にリソースを集中し、収益性の向上に注力しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は417,327千円（前年同期比68.5%増）、セグメント利益は582千円（前年同期はセグメント損失43,581千円）となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社ピーズエンジニアリングでの3DCAD分野の技術提供、機械・金型などの受託設計サービス、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術を提供しております。

自動車産業をはじめとする製品開発・設計の基本技術である3DCADや、品質管理に特化した人材の創出を促進すべく、積極的な採用・教育活動を行っております。

これらの結果、当セグメントの売上高は95,851千円（前年同期比151.2%増）、セグメント損失は11,483千円（前年同期はセグメント損失13,054千円）となりました。

④ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C Aでの有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供しております。

株式会社セラクE C Aでは流動性の高いIT人材市場において、高度IT技術者を多様な人材ニーズとマッチングさせることや、他業種も含めた幅広い分野の教育型人材サービスを提供すべく、求職者へのきめ細やかな対応と求人企業の新規開拓に取り組んでおります。優秀な人材の発掘とトレーニング及びマッチング率向上に注力し、各種業界への人材流入を促しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は10,321千円（前年同期はセグメント売上高 一千万円）、セグメント損失は1,278千円（前年同期はセグメント損失5,253千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ333,791千円増加し5,704,518千円となりました。これは主に、現金及び預金が112,598千円、繰延税金資産が85,215千円、受取手形及び売掛金が34,974千円、敷金及び保証金が30,780千円、流動資産その他が63,758千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ257,067千円増加し2,816,104千円となりました。これは主に、賞与引当金が255,019千円、未払法人税等が76,610千円、長期借入金が32,665千円、未払消費税等が14,607千円減少したものの、未払金が658,207千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ76,723千円増加し2,888,414千円となりました。これは主に、利益剰余金が76,704千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2019年10月15日の「2019年8月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,772,268	2,884,867
受取手形及び売掛金	1,597,154	1,632,128
仕掛品	18,034	32,579
原材料	28,634	28,074
その他	67,328	131,086
貸倒引当金	△2,689	△2,705
流動資産合計	4,480,730	4,706,030
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	72,425	70,637
工具、器具及び備品(純額)	13,947	13,107
その他	97	58
有形固定資産合計	86,470	83,804
無形固定資産		
のれん	34,217	31,936
ソフトウェア	26,267	24,193
その他	1,959	1,931
無形固定資産合計	62,445	58,061
投資その他の資産		
投資有価証券	222,440	221,510
繰延税金資産	279,521	364,737
敷金及び保証金	168,440	199,221
その他	70,678	71,153
投資その他の資産合計	741,080	856,622
固定資産合計	889,996	998,488
資産合計	5,370,727	5,704,518
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,748	42,363
1年内返済予定の長期借入金	136,215	136,215
未払金	806,252	1,464,459
未払法人税等	267,537	190,926
未払消費税等	263,997	249,389
賞与引当金	547,582	292,563
受注損失引当金	365	801
その他	161,993	128,919
流動負債合計	2,223,693	2,505,638
固定負債		
長期借入金	212,230	179,565
退職給付に係る負債	122,915	130,735
その他	196	165
固定負債合計	335,342	310,466
負債合計	2,559,036	2,816,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,974	297,974
資本剰余金	495,724	495,724
利益剰余金	2,018,270	2,094,974
自己株式	△32	△32
株主資本合計	2,811,937	2,888,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	972	327
退職給付に係る調整累計額	△3,159	△2,369
その他の包括利益累計額合計	△2,186	△2,041
新株予約権	1,940	1,814
純資産合計	2,811,690	2,888,414
負債純資産合計	5,370,727	5,704,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	2,581,277	3,161,151
売上原価	2,026,604	2,385,559
売上総利益	554,673	775,592
販売費及び一般管理費	520,426	565,397
営業利益	34,246	210,194
営業外収益		
受取利息及び配当金	785	429
助成金収入	3,100	400
受取補償金	356	149
その他	10	524
営業外収益合計	4,252	1,503
営業外費用		
支払利息	300	245
雑損失	49	179
営業外費用合計	350	424
経常利益	38,148	211,273
特別利益		
新株予約権戻入益	25	125
特別利益合計	25	125
特別損失		
固定資産除却損	1,921	—
特別損失合計	1,921	—
税金等調整前四半期純利益	36,252	211,399
法人税、住民税及び事業税	107,877	175,919
法人税等調整額	△78,876	△85,279
法人税等合計	29,001	90,640
四半期純利益	7,251	120,758
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,251	120,758

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	7,251	120,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	701	327
退職給付に係る調整額	△216	789
その他の包括利益合計	485	1,117
四半期包括利益	7,736	121,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,736	121,875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォーメ ーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,295,371	247,745	38,160	2,581,277	—	2,581,277	—	2,581,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,295,371	247,745	38,160	2,581,277	—	2,581,277	—	2,581,277
セグメント利益又は セグメント損失(△)	96,135	△43,581	△13,054	39,499	△5,253	34,246	—	34,246

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、かつ取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業活動の特徴、法的規制等を考慮した経営管理上の区分によって、「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」、「機械設計エンジニアリング事業」の3つを報告セグメントとしております。

「システムインテグレーション事業」は、ITインフラ・クラウドテクノロジー、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービス提供、「デジタルトランスフォーメーション事業」は、サイバーセキュリティ、IoT・AIを用いたデータサイエンス、RPAを用いたビジネスインテリジェンス、圃場環境モニタリングシステム『みどりクラウド』の販売及びサービス提供、「機械設計エンジニアリング事業」は、3DCAD分野の技術提供、機械・金型など受託設計のサービス提供を主な業務としております。

なお、当連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「機械設計エンジニアリング事業」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注3)
	システム インテグレ ーション	デジタル トランス フォーメ ーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,648,084	417,327	92,219	3,157,631	3,519	3,161,151	—	3,161,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,631	3,631	6,801	10,433	△10,433	—
計	2,648,084	417,327	95,851	3,161,263	10,321	3,171,585	△10,433	3,161,151
セグメント利益又はセグメント損失(△)	232,807	582	△11,483	221,907	△1,278	220,628	△10,433	210,194

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△10,433千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。